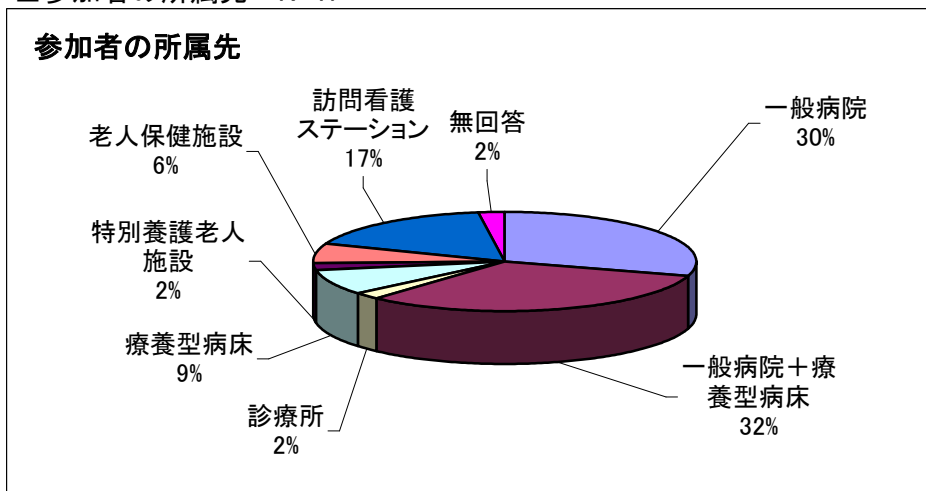
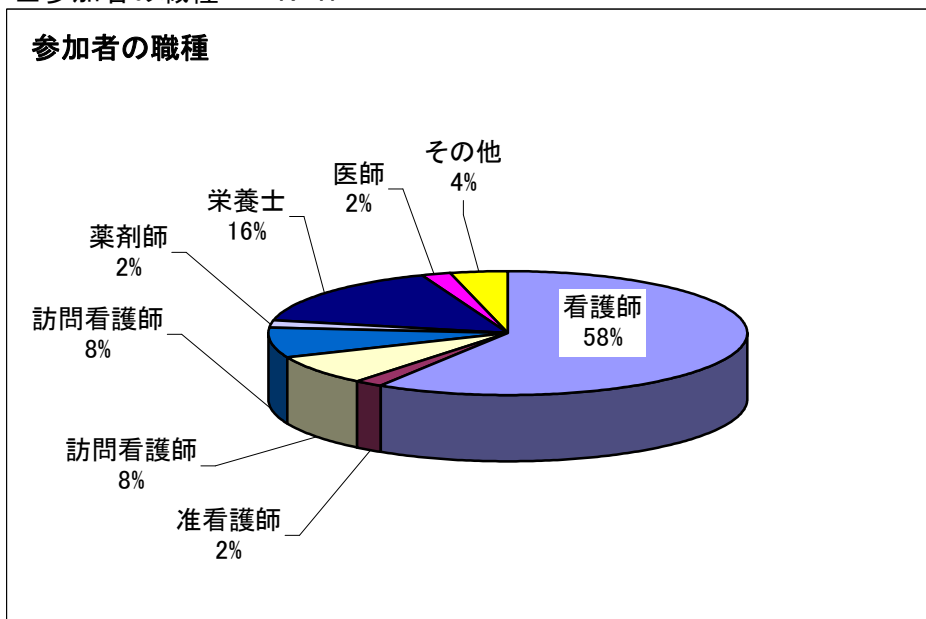


I. 参加者のプロフィール

■参加者の所属先 N=47

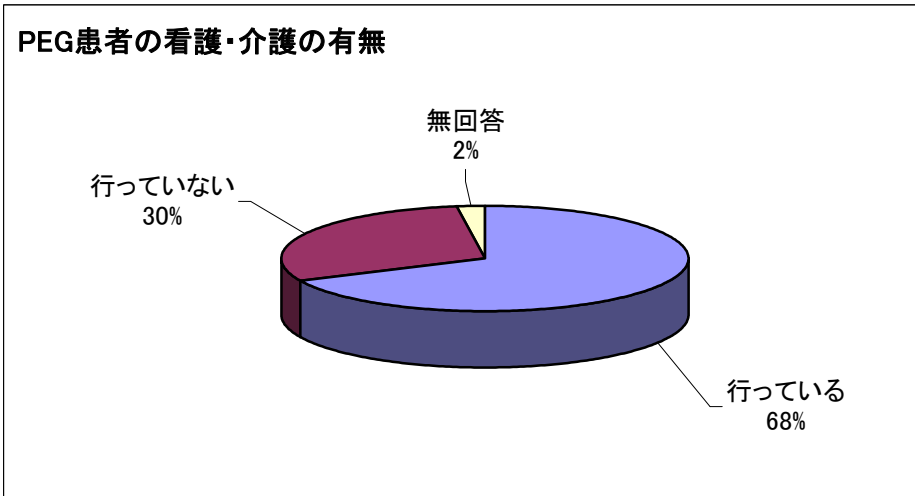


■参加者の職種 N=47

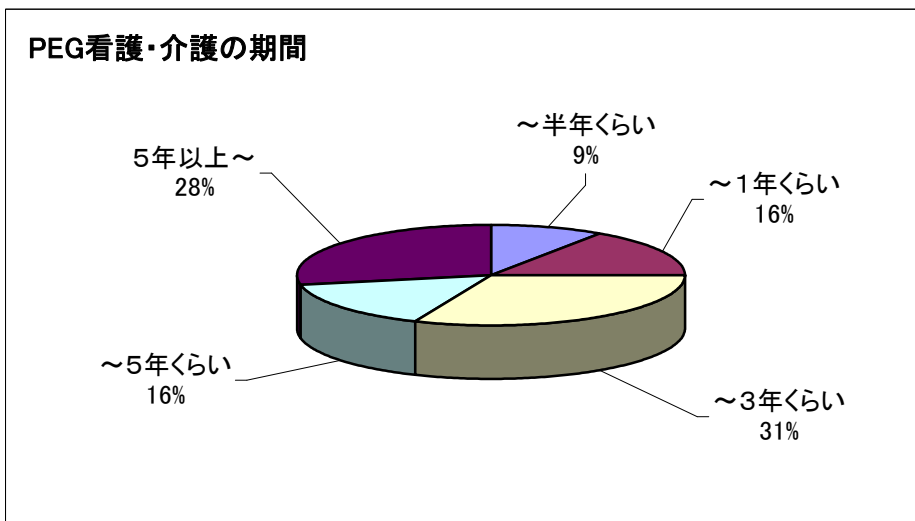


その他:看護師&ケアマネージャ

■ PEG患者の介護・看護の有無 N=47

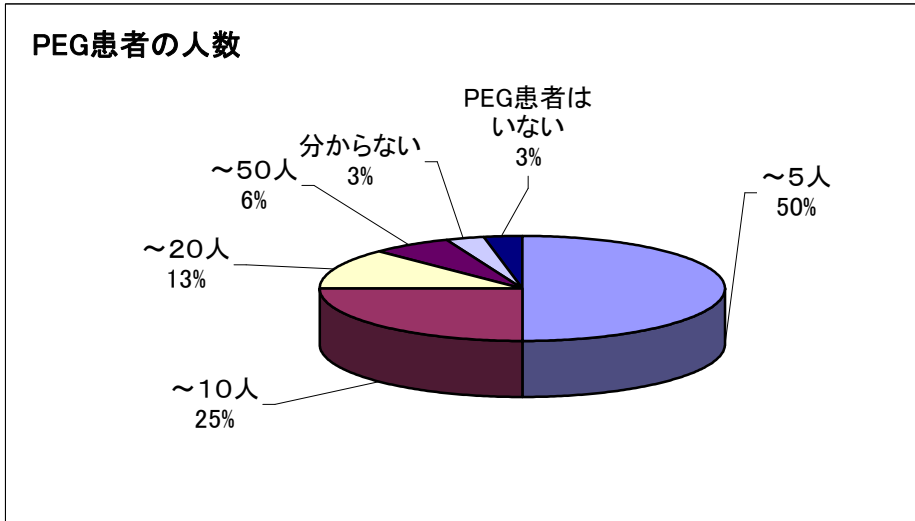


■ PEG介護・看護の期間(PEGの看護・介護を行っている人について) N=32

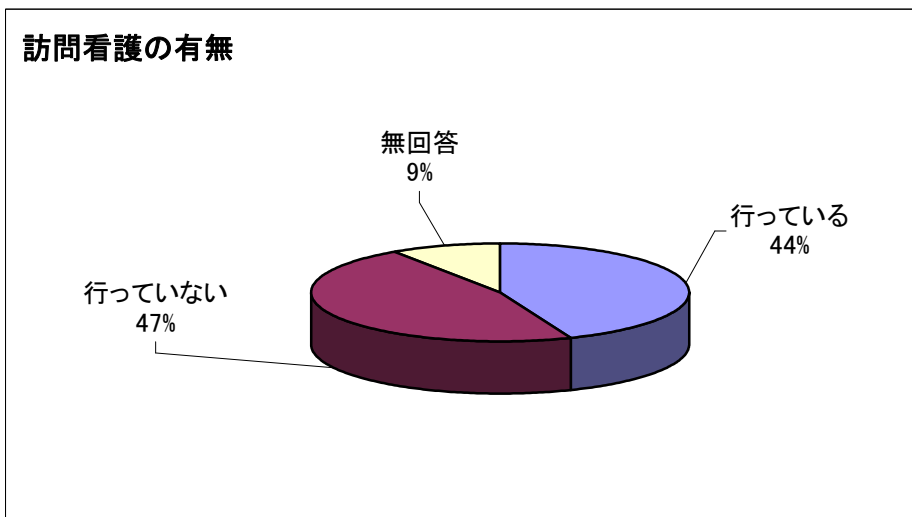


II. 所属先施設のPEGの現状

■ 所属先施設のPEG患者の人数 (PEGの看護・介護を行っている人について)
N=32



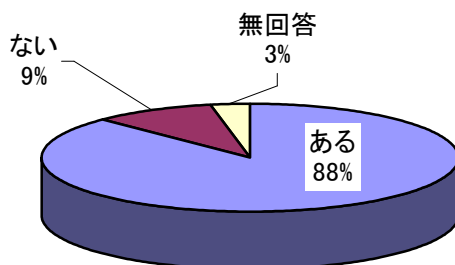
■ 所属先施設のPEGの訪問看護の有無 (PEGの看護・介護を行っている人について)
N=32



Ⅲ. PEGの看護について

■PEG看護の中でトラブルにあったことはあるか N=32

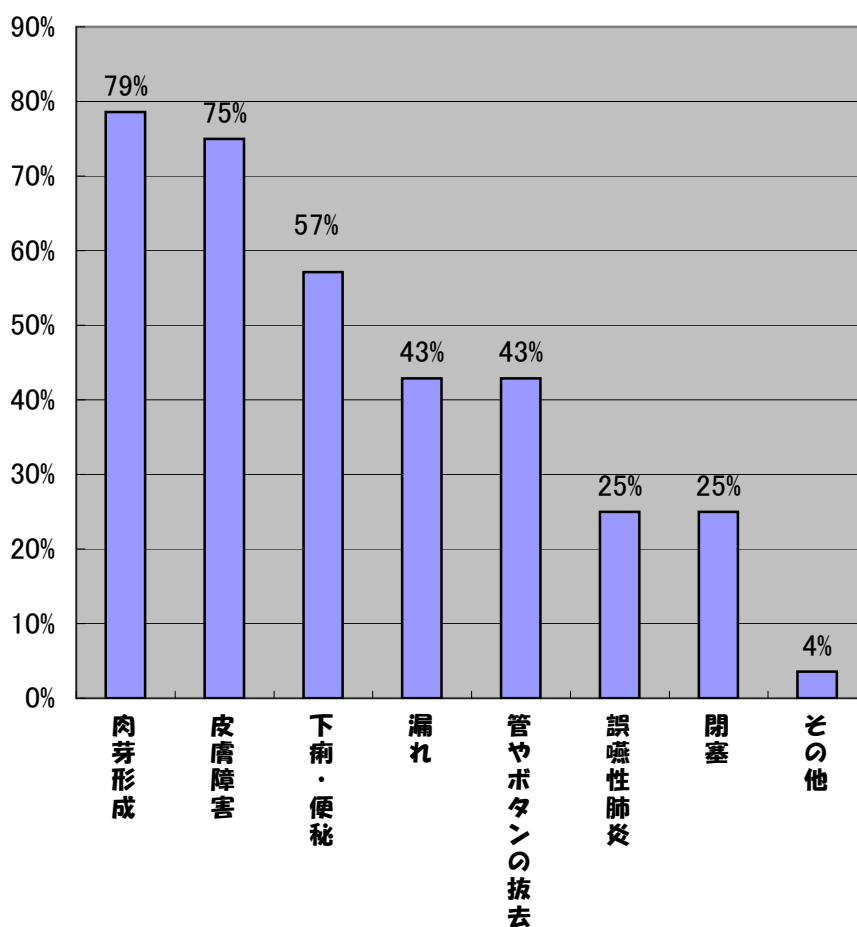
PEG患者の中でトラブルにあったことがあるか



■どんなPEGのトラブルにあったことがあるか(複数回答可) N=28

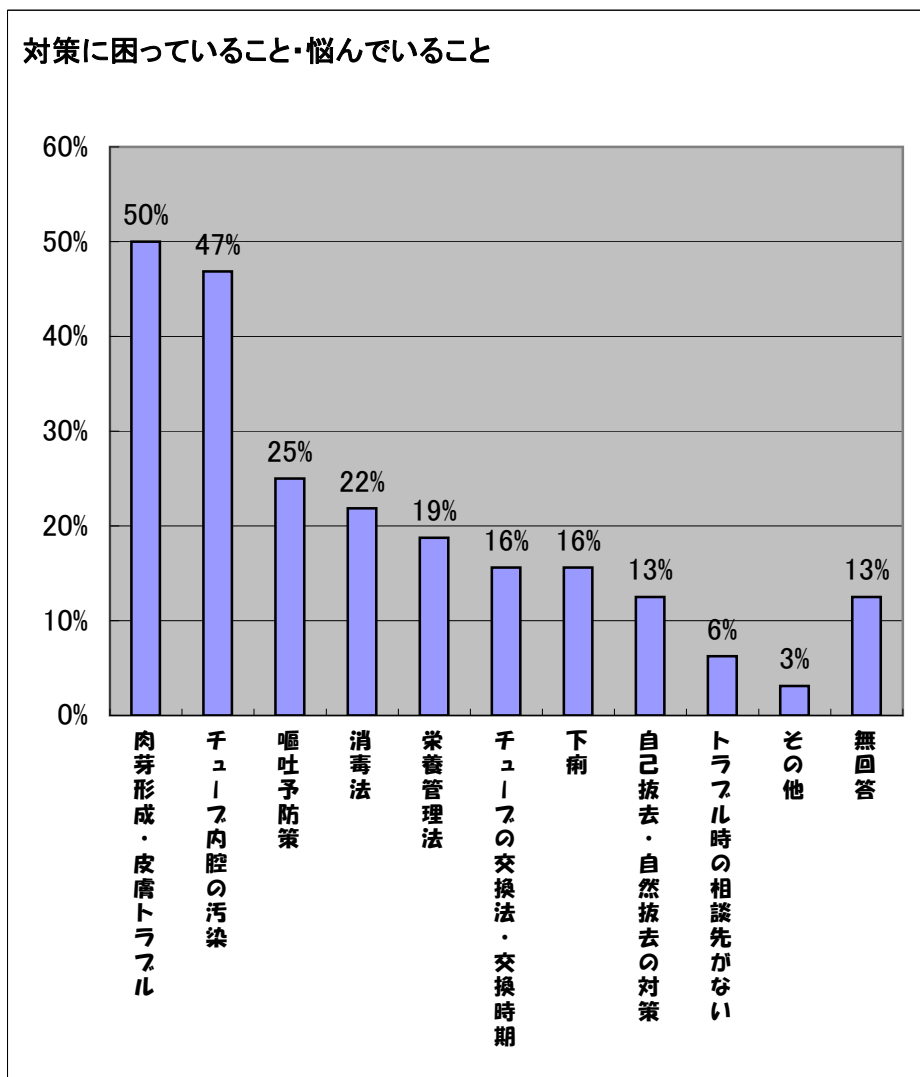
(看護中にトラブルにあったことのある参加者に対して)

どんなトラブルにあったことがあるか



その他:嘔吐・悪心

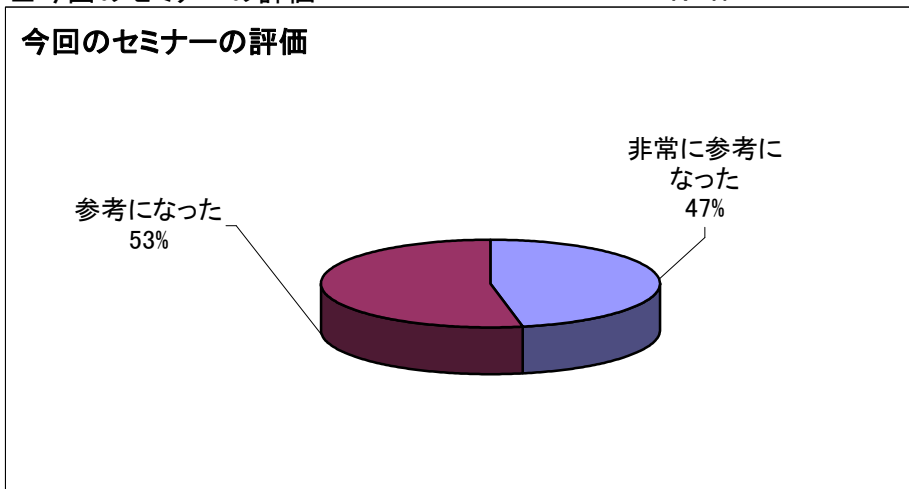
■PEGの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるもの(複数回答可)
N=32



IV. 今回のセミナーの評価と、今後のセミナーの希望テーマ

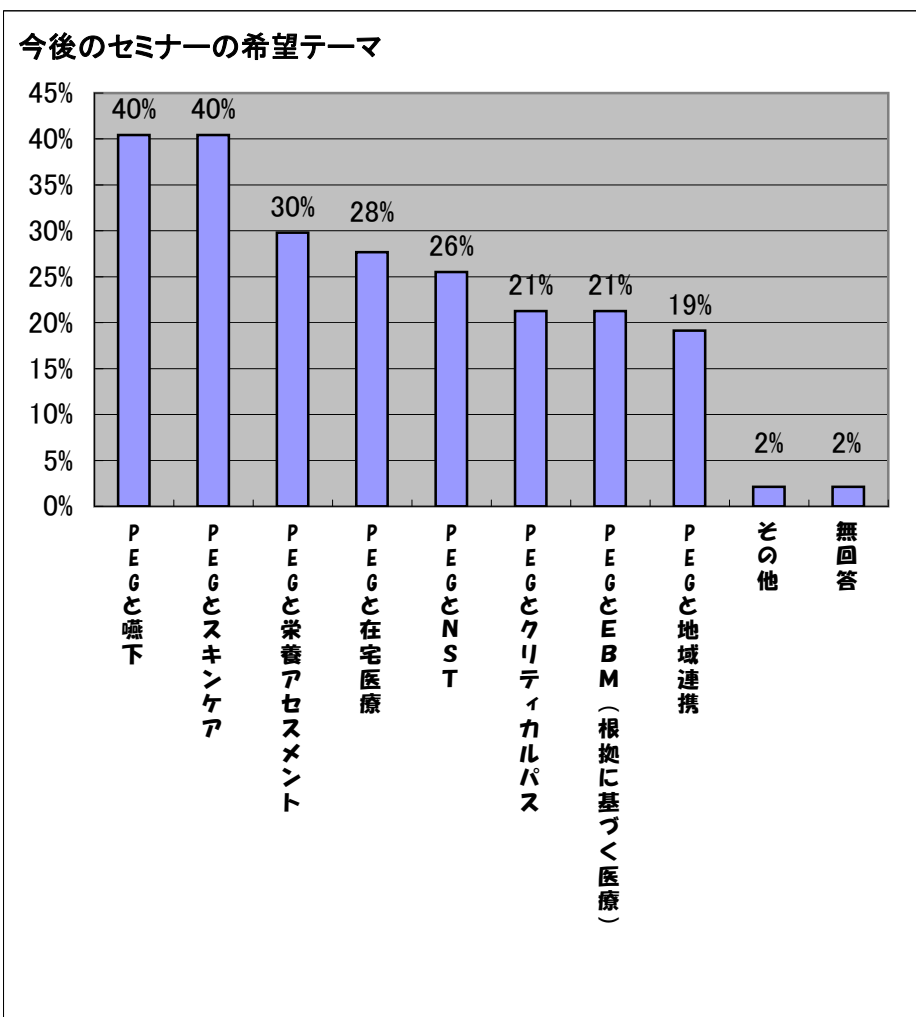
■ 今回のセミナーの評価

N=47



■ 今後のセミナーの希望テーマ(複数回答可)

N=47



その他: 看護サマリー・栄養サマリー等の実際(地域連携のため、共通のものが持てたら良いと思った)(栄養士)

V. 自由回答意見

問. PEGの正しい理解のためにはどのようなことが解決されなければならないとお考えですか。
どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をお聞かせください。

- ・このような研修の場を何度も持ち、スタッフのレベルアップに取り組む。(看護師、一般病院+療養型病床)
- ・実践と医療チームの知識の向上だと思います。(看護師、一般病院+療養型病床)
- ・医療従事者の知識の向上。Faを含めた周知。リスク、メリット。(准看護師、療養型病床)
- ・医療関係者を対象とした講義だけではなく、一般向けにも講習会を行うなど。(栄養士、一般病院+療養型病床)
- ・在宅でも安心して生活できるように、担当医だけでなくPEGの知識を持った人が定期的に訪問し、家族や介護保険で利用しているデイサービス、デイケアの職員にもアドバイスをしてもらいたい。(看護師・ケアマネージャ、老人保健施設)
- ・栄養療法に関して教育認定施設があります。PEGの実際を見るにはそういった教育施設を積極的に利用して認識を深めてほしい。百聞は一見にしかずです。現場のナースは特に、見て練習・実習することで自信を持って管理できると考えます。(看護師、一般病院)
- ・退院後の施設でのPEGへの理解が必要になるのではないのでしょうか。(栄養士、一般病院+療養型病床)
- ・院長・副院長に、このようなセミナーに対する理解が全くないように感じる。(医師ではなく石です。)胃腸外科なのにPDNに所属してないし。NSTなんて…！と思ってるのかなあ。ましてや「本当に栄養管理って必要なの？」と質問されるようでは！！めげてしまいます。まずは医師の意識改革だと思います。(栄養士、一般病院+療養型病床)
- ・現在勤務している病院では、TPNを使用していたら施設に入所できない為、PEGの造設をすることが多いように感じるのですが、どうなのかなあ、と今日のセミナーに参加して思いました。本当にその人にPEGが必要なのかは、どこで、どう話し合っただけでいいのかな、関わっている人全員が理解しないといけないと思いました。(看護師、一般病院+療養型病床)
- ・胃ろうはあくまで経口摂取のための補助手段。必要性を十分に検討。これは当院ドクターが良く勉強してもらいたい。食べられなければ胃ろうを！という考えは間違いと分かった。老衰は栄養剤ではとめられない。(看護師、一般病院+療養型病床)
- ・病院内でのPEGの種類が統一されていない。部署によって違う。(看護師、一般病院)
- ・PEGの交換時期が講義の内容によって異なっている。高カロリーの経管栄養を注入するとPEGの汚染リスクが高いと思います。交換時期の検討はどうですか？(看護師・訪問看護師、訪問看護ステーション)

『第6回群馬PDNセミナー』アンケート

平成18年11月25日(土)

回収サンプル数:47サンプル

回答番号:実数:構成比

Q1.あなたは現在PEGの患者の看護・介護を行っていますか?

(1)行っている:32:68.1% (2)行っていない:14:29.8% 無回答:1:2.1%

↓

└⇒Q8へ

N=32

Q2.PEGの看護を行うようになってから何年になりますか

(1)~半年くらい:3:9.4%(2)~1年くらい:5:15.6%(3)~3年くらい:10:31.3%(4)~5年くらい:5:15.6%(5)5年以上~:9:28.1% 無回答:0:0.0%

Q3.現在、胃ろうを入れられた患者様は何人いらっしゃいますか

1.いる ()名 2.いない

(1)~5人:16:50.0%(2)~10人:8:25.0%(3)~20人:4:12.5%(4)~30人:0:0.0%(5)~50人:2:6.3%(6)~100人:0:0.0%(7)101人以上~:0:0.0%(8)分からない:1:3.1%(9)PEG患者はいない:1:3.1%無回答:0:0.0%

Q4.ご施設ではPEGの訪問看護を行っていますか?

(1)行っている:14:43.8%(2)行っていない:15:46.9% 無回答:3:9.4%

Q5.看護中で、トラブルにあったことがありますか?

(1)ある:28:87.5% (2)ない:3:9.4% 無回答:1:3.1%

↓

└⇒Q7へ

N=28

Q6.どんなトラブルでしたか?(いくつでも)

(1)肉芽形成:22:78.6%(2)皮膚障害:21:75.0%(3)誤嚥性肺炎:25.0%(4)漏れ:12:42.9%(5)閉塞:7:25.0%(6)下痢・便秘:16:57.1%(7)管やボタンの抜去:12:42.9%(8)その他:1:3.6%:無回答:0:0.0%

Q7.看護の中で、今悩んでいるものはどれですか?(いくつでも)

(1)自己抜去・自然抜去の対策:4:12.5%(2)チューブの交換法・交換時期:5:15.6%(3)チューブ内腔の汚染:15:46.9%(4)消毒法:7:21.9%(5)肉芽形成・皮膚トラブル:16:50.0%(6)嘔吐予防策:8:25.0%(7)栄養管理法:6:18.8%(8)下痢:5:15.6%(9)トラブル時の相談先がない:2:6.3%(10)その他:1:3.1%(11)特にない:0:0.0% 無回答:4:12.5%

N=47

Q8.きょうのセミナーは参考になりましたか?(ひとつだけ)

(1)非常に参考になった:22:46.8% (2)参考になった:25:53.2% (3)参考にならなかった:0:0.0% 無回答:0:0.0%

Q9.今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか?(いくつでも)

(1)PEGと嚥下:19:40.4%(2)PEGと栄養アセスメント:14:29.8%(3)PEGとスキンケア:19:40.4%(4)PEGと在宅医療:13:27.7%(5)PEGとNST:12:25.5%(6)PEGとクリティカルパス:10:21.3%(7)PEGと地域連携:9:19.1%(8)PEGとEBM(根拠に基づく医療):10:21.3%(9)その他:1:2.1%:無回答:1:2.1%

Q10.あなたは次のどれにあたりますか?

(1)看護師:30:58.8%(2)准看護師:1:2.0%(3)訪問看護師:4:7.8%(4)介護福祉士:0:0.0%(5)作業療法士:0:0.0%(6)介護支援専門員(ケアマネージャ):0:0.0%(7)訪問看護士:4:7.8%(8)薬剤師:1:2.0%(9)栄養士:8:15.7%(10)医師:1:2.0%(11)その他:2:3.9% 無回答:0:0.0%

Q11.あなたの所属先は?

(1)一般病院:14:29.8%(2)一般病院+養型病床:15:31.9%(3)診療所:1:2.1%(4)療養型病床:4:8.5%(5)特別養護老人施設:1:2.1%(6)老人保健施設:3:6.4%(7)訪問看護ステーション:8:17.0%(8)在宅介護支援センター:0:0.0%(9)居宅介護支援事務所:0:0.0% 無回答:1:2.1%

Q13.PEGの正しい理解のためにはどのようなことが解決されなければならないとお考えですか?

どのようなことでも結構です。忌憚のない意見をお聞かせください。